

事前防災行動計画(タイムライン)の見直しについて 【説明資料】

平成29年6月13日

菊川水防災協議会
天竜川下流水防災協議会

1. 現状の取組状況と課題

菊川

天竜川下流

現状

- ・河川水位の動向に応じて、住民避難等に資する「洪水予報」(浜松河川国道事務所・静岡地方気象台共同発表)を自治体向けに通知している。
- ・関係機関の行動がわかるタイムラインが作成されている。
- ・洪水対応演習を実施し、情報伝達の方法や内容を確認している。

- ・各市では、タイムラインは関係機関と連携して作成しており、水害対応チェックリストとしてタイムラインを活用している。
- ・出水期前に実際の洪水が発生した場合を想定し、関係機関の参加による、洪水に対する対応演習や情報伝達方法の訓練を実施している。



課題

●風水害における避難勧告の経験(実績)が少なく、風水害における避難勧告を想定した訓練を実施しておらず、住民への周知の徹底や迅速な避難所運営に不安がある。

●風水害における避難勧告は行っているものの避難勧告を想定した訓練やシナリオの共有化が行われておらず、住民への周知の徹底や迅速な避難所運営に不安がある。



・洪水を対象とした避難勧告の発令等に着目したタイムライン(時系列の防災行動計画)の見直しを行う。

・洪水を対象とした避難勧告の発令等に着目したタイムライン(時系列の防災行動計画)の見直しを行う。

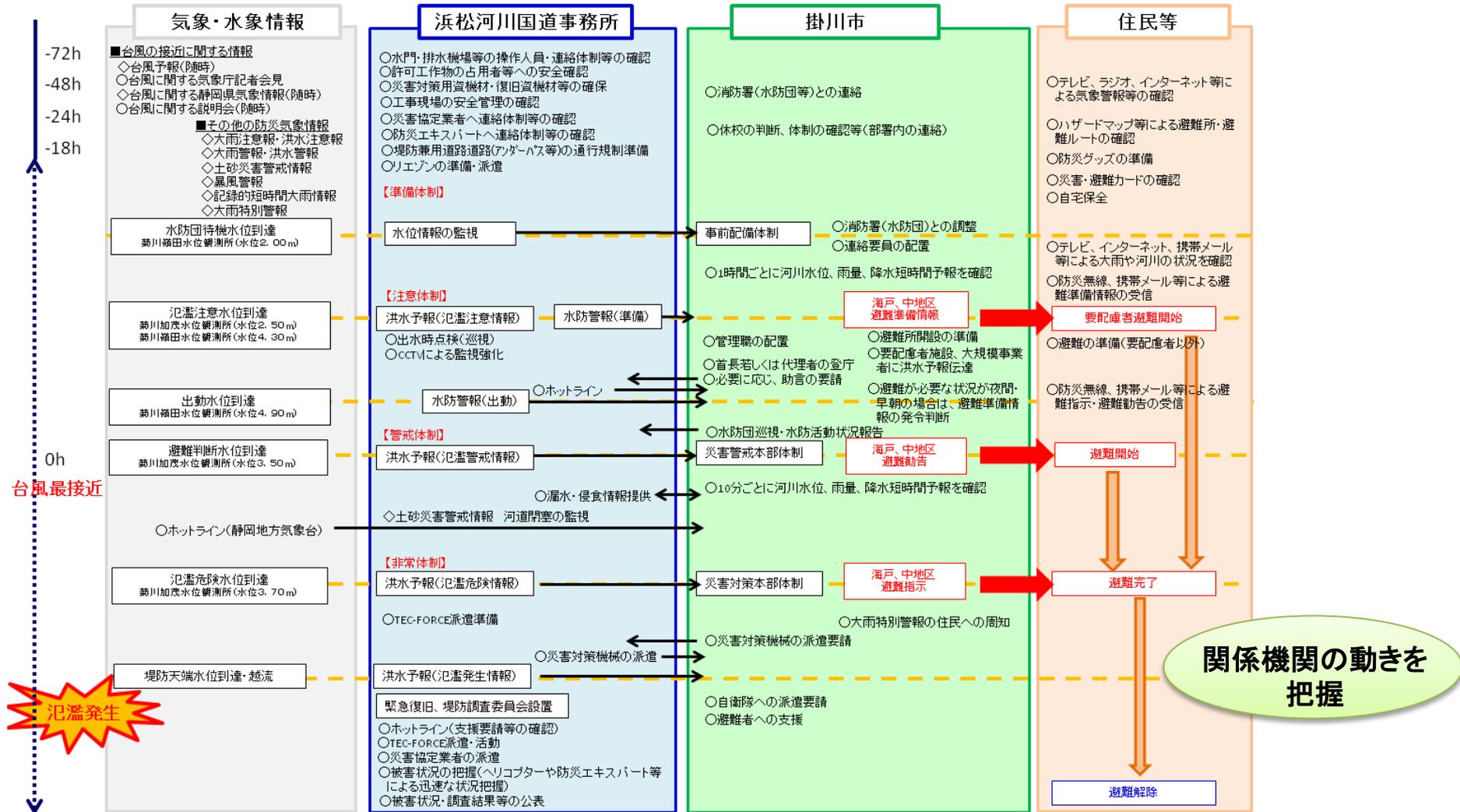
1. 現状の取組状況と課題

洪水を対象としたタイムライン(時系列の防災行動計画)

掛川市版タイムラインの例

台風の接近・上陸に伴う洪水を対象とした避難勧告の発令等に着目したタイムライン(防災行動計画)(案)

【掛川市】菊川水系菊川



※1 水位変動に伴う時間軸は台風進路予測の修正等により想定困難なため、設定しないものとする。また、0hは台風の進路、雨の降り方等により水位上昇は一樣で無いため、上下に変動ものとして設定している。
 ※2 都道府県からの情報もあるが、割愛している。

2. タイムラインの見直しについて

関係市ヒアリングによる意見整理

掛川市

- 国の立場では、理想的な動きとしての防災行動が記載されているが、実際に現場で動くことを考えると、そんなに早く対応できず、**1段階ずつ遅れた対応**となる。この点について今後どうして行ったら良いか教えて頂きたい。
- 掛川市では**市のタイムラインを作成**しており、国のものはチェック程度に使用している。

菊川市

- 市で考えているタイミング（避難勧告等の判断・伝達マニュアルのタイミング）に対して、**国作成のTLは一段階早くなっている**。

磐田市

- 市で作成している避難判断・伝達マニュアル【暫定版】では、国作成タイムラインに比べて、**1段階ずつ遅れた対応**となっている。
- 氾濫発生情報の前に**前兆現象の時点で助言が欲しい**。

浜松市

- 県管理河川の方が安全度が低く、国管理河川より避難勧告等が先になると思われる。**県管理河川で避難勧告等を出し、さらに天竜川となった場合、どう対応をするのか**考える必要がある。
- 国管理河川、県管理河川と川ごとにタイムラインを分けるのではなく、**国と県ですり合わせ**をしてほしい。

■ 今後の確認・調整事項

- 国と市の考える行動時期等の再確認
- 関係機関の連携強化

■ 今後の確認・調整事項

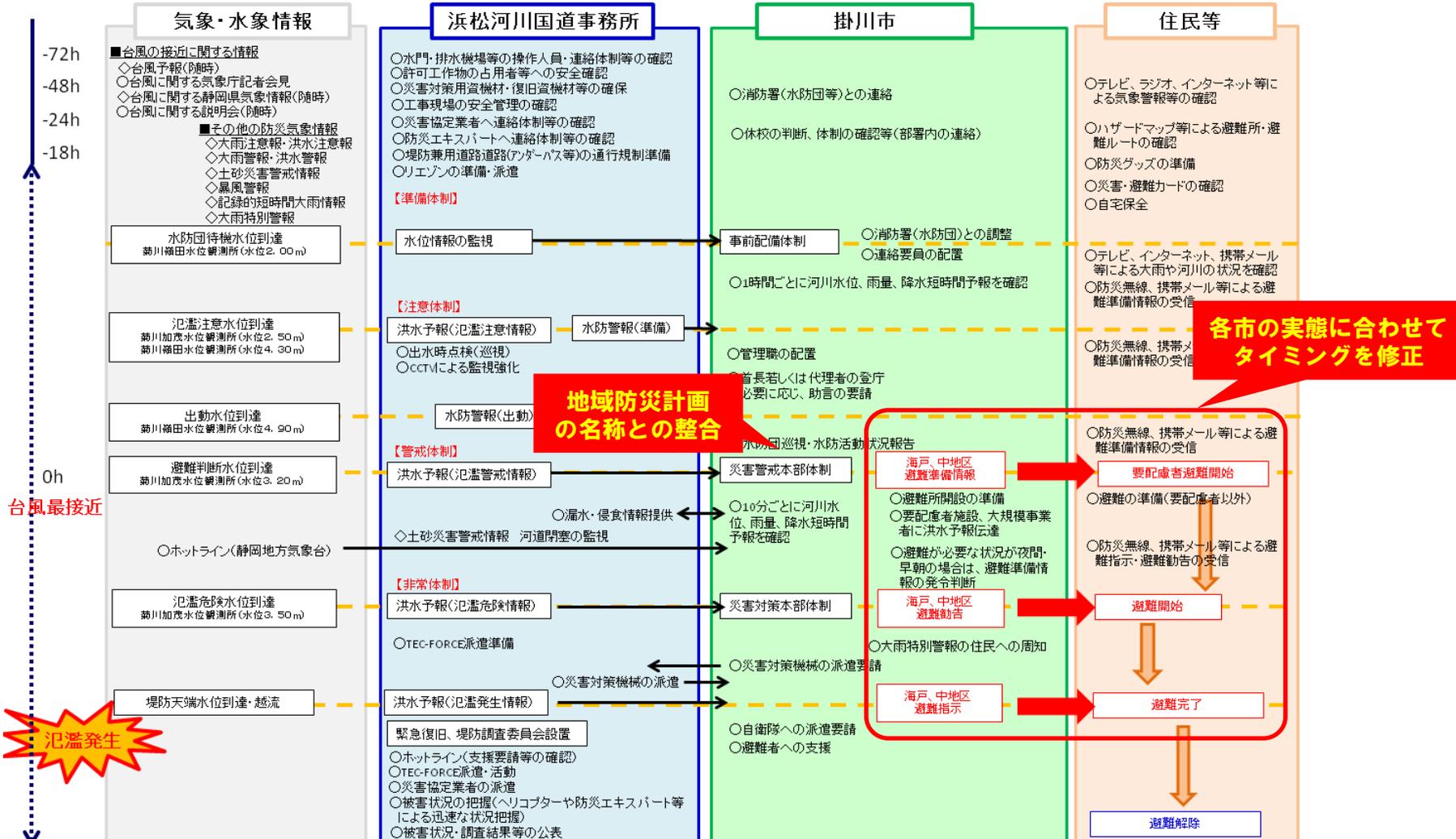
- 国と市の考える行動時期等の再確認
- 国・県管理河川のタイムラインの整合
- 関係機関の連携強化

掛川市版タイムラインの例

2. タイムラインの見直しについて

聞き取り結果・防災関連計画からのタイムラインの修正

台風の接近・上陸に伴う洪水を対象とした避難勧告の発令等に着目した**タイムライン(防災行動計画)(案)**
 【H28更新版】 【掛川市】菊川水系菊川



2. タイムラインの見直しについて

県作成タイムライン(太田川・原野谷川)

県タイムラインイメージ

太田川・原野谷川タイムライン

- * 本タイムラインは、概ね50年に1回の確率規模である太田川流域の24時間雨量355.1mmの降雨によって、河川が増水、氾濫した場合を想定して作成したものである。
- * 実際の台風等の接近時には、台風速度、降雨パターン等により時間軸が変化するため、各防災行動項目の実施に当たっては、各機関が責任を持って判断する。
- * 豪雨等により、河川の水位が短時間のうちに急上昇する場合がある。
- * 浸水し始めたら、屋外への避難はしないで、垂直避難とすること。(ただし堤防の近くで、破堤により、家屋倒壊の恐れがある場合は、避難所に早めに避難する。)

Ver.1(2016.6.1)

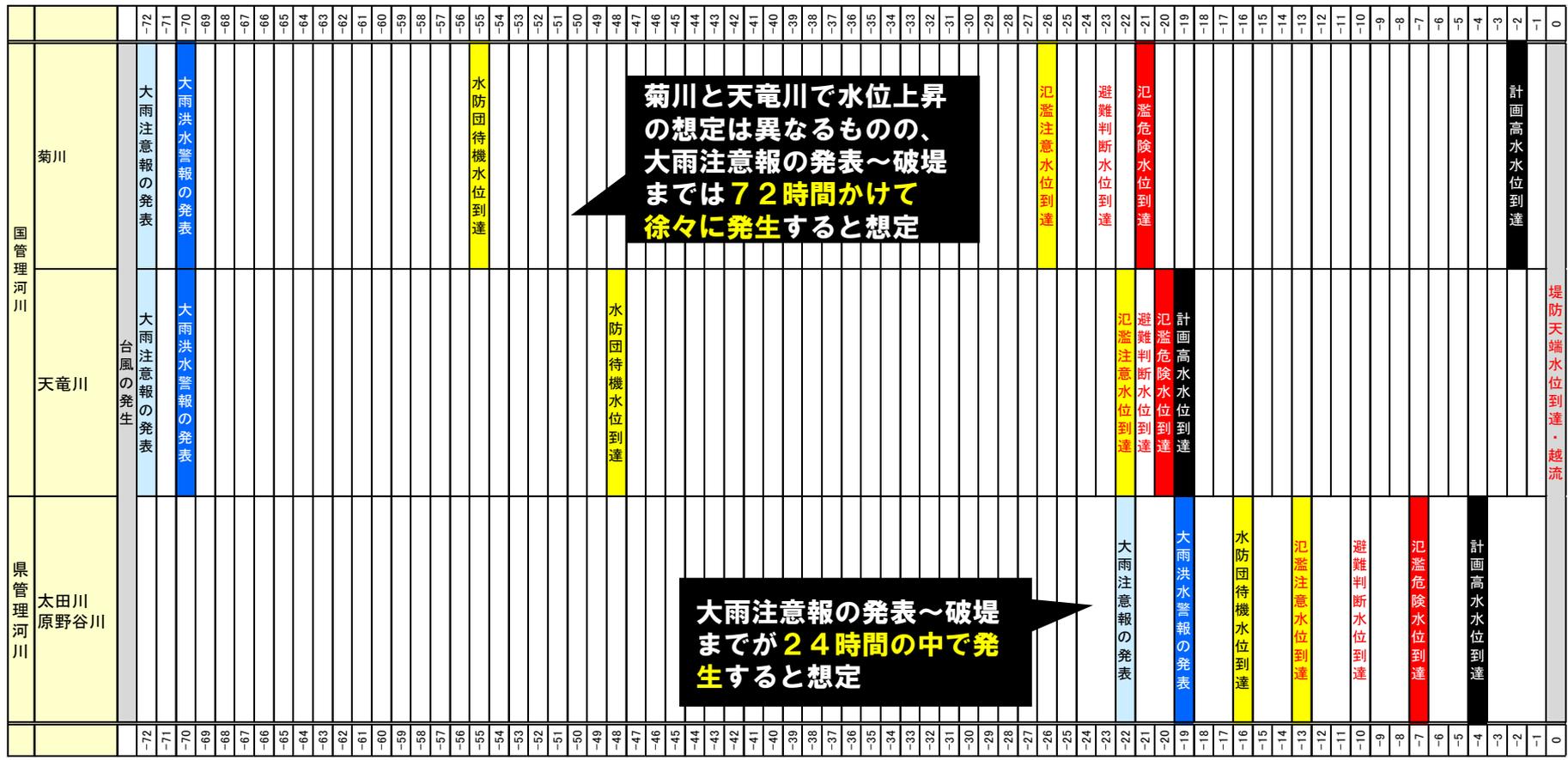
検討フェーズ(時期)	何時(いつ)			NO	行動(何を)	だれが(情報の発表又は行動の主体:◎) 情報を伝達される関係者又は行動の協力者:○)																					
	時刻	水位	気象情報・予警報			静岡県地方気象台	袋井市災害対策本部	袋井市 防災課	袋井市 都市建設部	袋井市 学校教育課	袋井市 企業政策課・財政課	袋井市 消防団(水防団)	袋井警察署	浜松河川国道事務所	中部電力(株)	西日本電信電話(株)	秋葉バスサービス(株)	福祉施設事業者	学校	企業	住民(施設操作者等)	住民	報道機関				
台風最接近の一日前まで	-72H		台風が発生	1 台風情報および気象情報の発表・伝達・収集・確認	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
			台風による静岡県への影響の可能性 台風情報 静岡県気象情報	2 台風情報および気象情報の発表・伝達・収集・確認	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
				3 水位状況の把握	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
				4 河川管理施設の巡視・点検等(設備動作確認)			◎																				
				5 支援協定業者等への連絡調整			◎																				
				6 工事現場、危険箇所の点検、確認			◎																				
-48H		台風の静岡県内への接近 台風情報 静岡県気象情報	7 台風情報および気象情報の発表・伝達・収集・確認	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
			8 水位状況の把握	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
			9 台風説明会の開催・参加	◎	○	◎	○	○	○																○		
			10 災害対策用資機材、復旧用資機材の準備			◎																					
台風最接近の一日前より破堤直前まで	-24H以内	強風注意報 大雨注意報	11 強風注意報、大雨注意報の発表・伝達・収集・確認	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
			12 水位状況の把握	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			13 配備体制の確認・移行(県土木:第1次事前配備)			◎																					
			14 防災気象情報「警報級の現象」になる可能性の提供・確認(H28試行、H29運用開始予定)	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			15 避難判断チーム(気象状況の把握)			◎																					
			16 住民周知(気象情報・準備呼びかけ)			◎																			○		
			17 学校・保育園等の休校の検討									◎															
			18 社会福祉施設の避難対応の情報収集										◎														
			19 避難者及び移動支援を必要とする人数の確認										◎														
			20 協定先福祉施設の受入準備の確認										◎														
			21 バスの水害時運行管理体制の準備・確認(運行計画等の調整)																								
			大雨警報 洪水警報 暴風警報			22 大雨警報、洪水警報、暴風警報の発表・伝達・収集・確認	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
						23 水位状況の把握	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24 配備体制の確認・移行(市:事前配備、県土木:第2次事前配備、県危機:情報収集)						◎																					
25 河川管理施設(玉越樋門)のゲート操作の確認						◎																					
26 気象台へ情報確認						○																					
27 休校の決定・伝達															◎												
28 休校措置															◎												
29 避難判断チーム(避難所設置判断)															◎												

2. タイムラインの見直しについて

県作成タイムラインとの比較について

国作成タイムライン(草案)と県作成タイムラインの気象・水位情報が得られると想定するタイミングが異なる。

- 台風発生から破堤(越水)までの時間はどちらも72時間
- 国: 台風発生後すぐに大雨注意報・警報と順次発表され、48時間程度経過後から水位上昇があり、24時間以内に破堤する想定
- 県: 台風発生から、48時間程度経過後に大雨注意報・警報が発表され、24時間以内に破堤に至る想定



菊川と天竜川で水位上昇の想定は異なるものの、大雨注意報の発表～破堤までは72時間かけて徐々に発生すると想定

大雨注意報の発表～破堤までが24時間の中で発生すると想定

河川毎に水位上昇特性が異なる中で、防災行動をどうすり合わせていくかが課題

3. タイムラインの見直しスケジュールについて

浜松河川国道事務所の取組案

- ① 現行タイムラインの見直し検討
→ 簡易試行版としてこれまで作成してきたタイムラインの、各市の実態に沿った見直し検討
- ② 詳細版タイムラインの作成
→ 現行タイムラインの見直し検討において明らかとなった課題を踏まえ、詳細版タイムラインを作成
(市・県・気象台・浜松河川国道事務所等の関係機関が、実際の災害時に連携できるための具体的行動を明記)

取組に関するスケジュール案

取組	H28	H29	H30	H31	H32
現行タイムラインの見直し	現行(簡易試行版)タイムラインの見直し検討				
詳細版タイムラインの作成	詳細版タイムライン案の作成検討	関係機関との協議・詳細版タイムラインの検討	問題点の抽出、タイムラインの改訂		

今年度の取組